

喪中につき年頭の挨拶を

失礼させていただきます

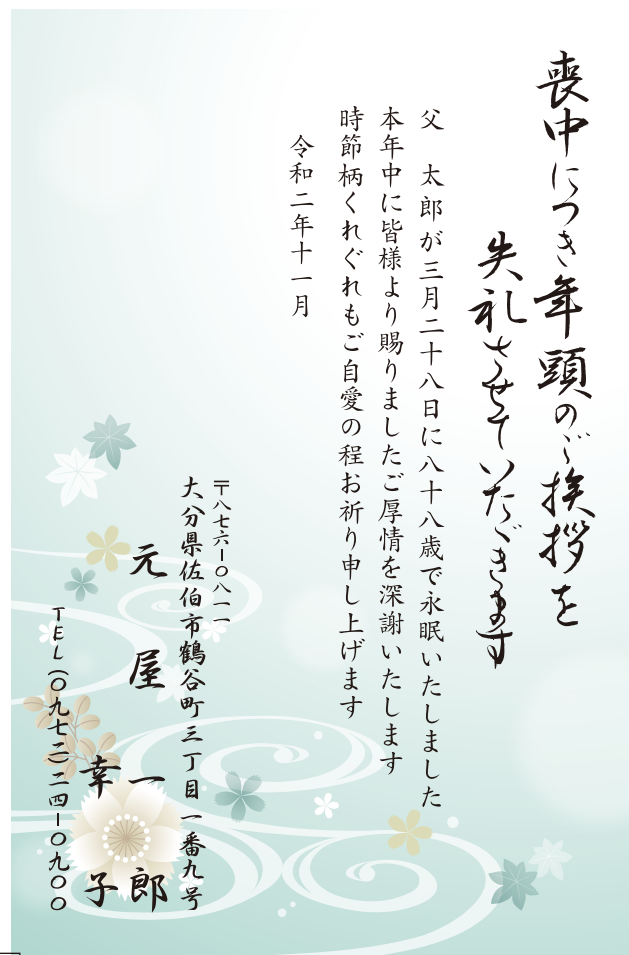
父 太郎が三月二十八日に八十八歳で永眠いたしました
本年中に皆様より賜りましたご厚情を深謝いたします
時節柄くれぐれもご自愛の程お祈り申し上げます

令和二年十一月

〒八七六〇八二
大分県佐伯市鶴谷町三丁目一番九号

元屋 幸一郎

TEL 〇九七二二四〇九〇〇



A B

喪中につき新年のご挨拶を

失礼させていただきます

本年中に賜りましたご厚情を深謝致しますと共に
明年も変わらぬご交誼のほどお願い申し上げます

令和二年十一月

〒八七六〇八二
大分県佐伯市鶴谷町三丁目一番九号

元屋 幸一郎

TEL 〇九七二二四〇九〇〇



C D

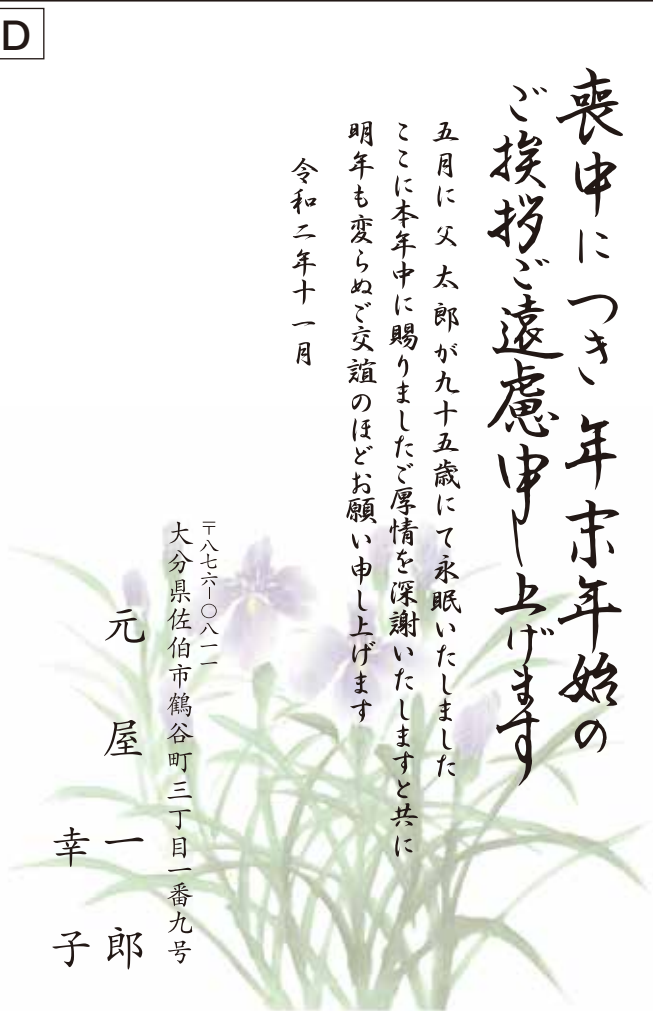
喪中につき年未年始の
ご挨拶ご遠慮申し上げます

五月に父太郎が九十五歳にて永眠いたしました
ここに本年中に賜りましたご厚情を深謝いたしますと共に
明年も変わらぬご交誼のほどお願い申し上げます

令和二年十一月

〒八七六〇八二
大分県佐伯市鶴谷町三丁目一番九号

元屋 幸一郎



喪中につき新年のご挨拶を

失礼させていただきます

ごぶさたを重ねておりますが お変わりなく
お過ごしのことと存じます
去る 八月三十一日 義父佐伯太郎が八十二歳にて
永眠いたしましたので 年賀のごあいさつを
ご遠慮申し上げます
どうぞ皆様よいお年をお迎えください
令和二年十一月

〒八七六〇八二
大分県佐伯市鶴谷町三丁目一番九号

元屋 幸一郎

